

「企業の森づくり推進事業」について

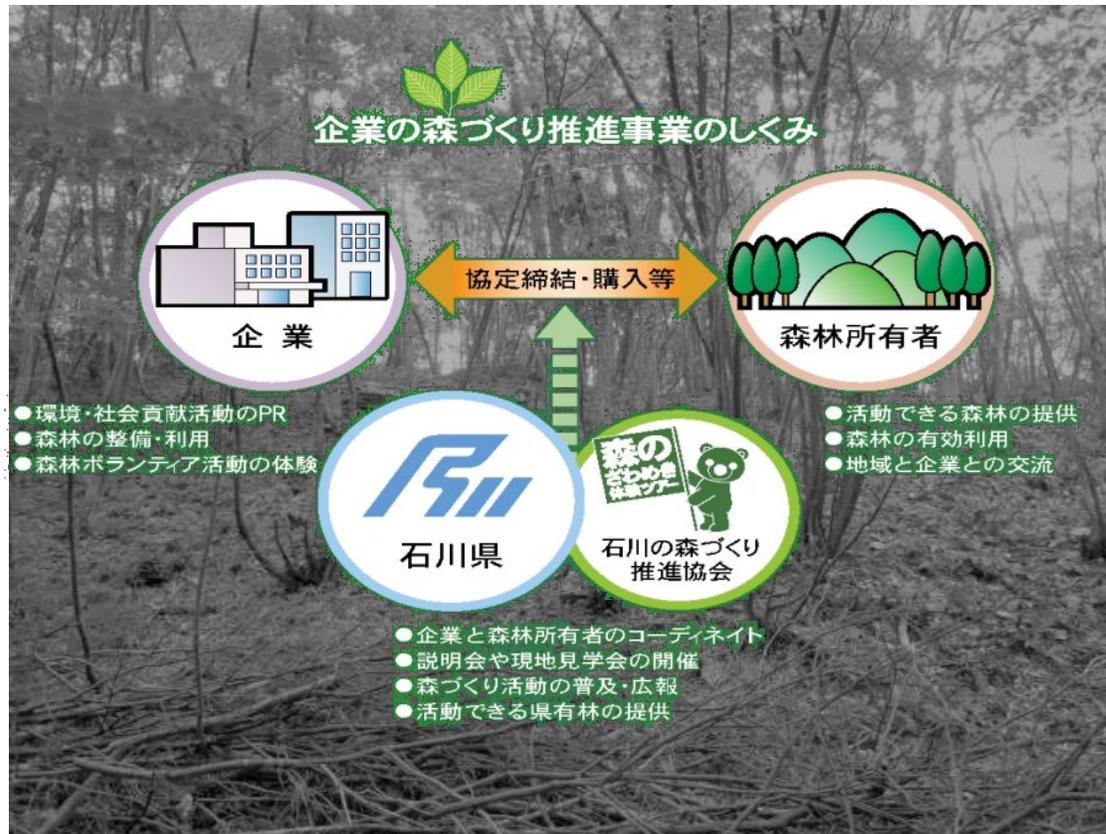


県では、「いしかわ森林環境税」を活用し、県がコーディネーターとなり、森林環境保全に積極的な企業や団体と地域との連携による森づくりを進めていくため、2007年度より「企業の森づくり推進事業」を展開

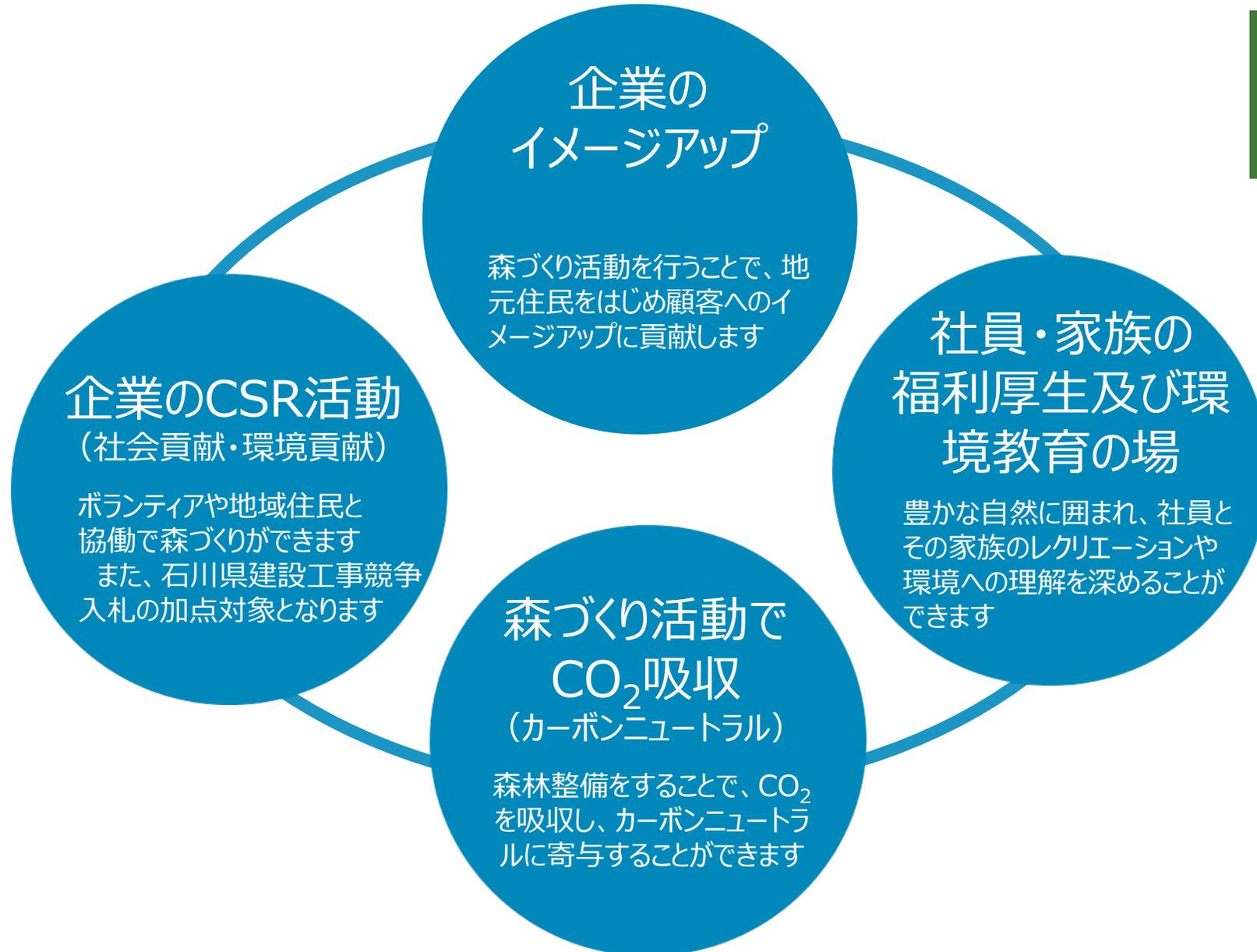
13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



企業の森づくりを行うメリット



いしかわの木

企業の森づくり推進事業の流れ



相 談

取り組み事例、進め方の紹介、
企業イメージや予算などの情報交換



提 案

活動フィールドや受け入れ団体、活動プランを提案



地元調整

活動する森林候補地の視察、受け入れ団体や活動プランの調整



合 意

関係者の役割分担や活動内容を合意、
関係者間で協定や契約を締結



実 施

企業と受け入れ団体との調整を経て、
森づくり活動を実施



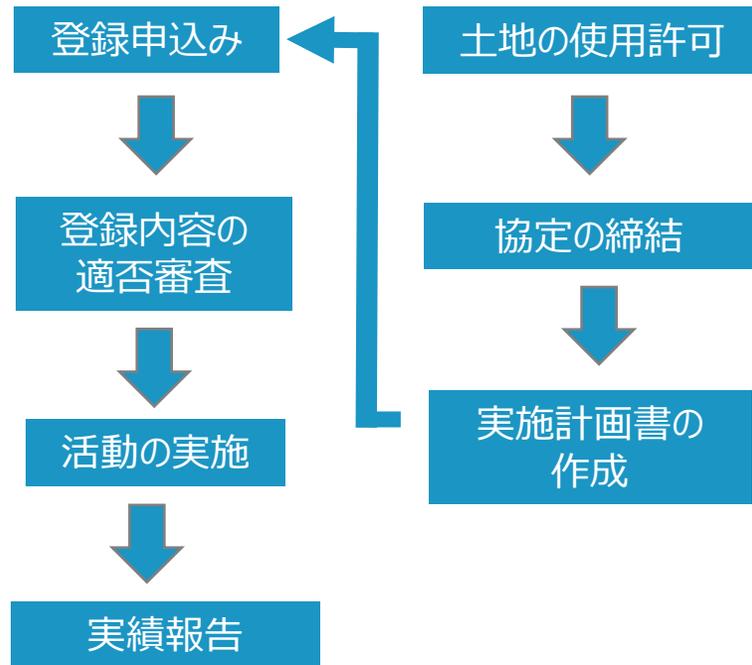
企業の森づくり推進事業の事務手続き



市町有・私有林等

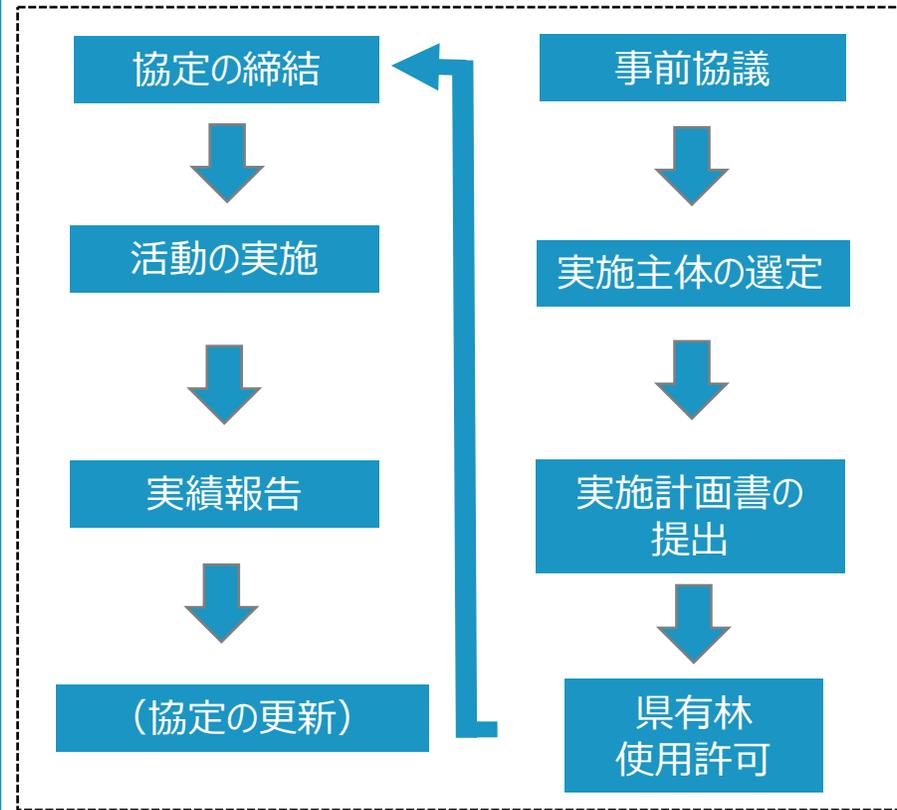
＜石川県における企業の森づくり活動及び
森林整備活動CO2吸収量認証に関する実施要領＞

＜企業の森として登録を希望する企業＞

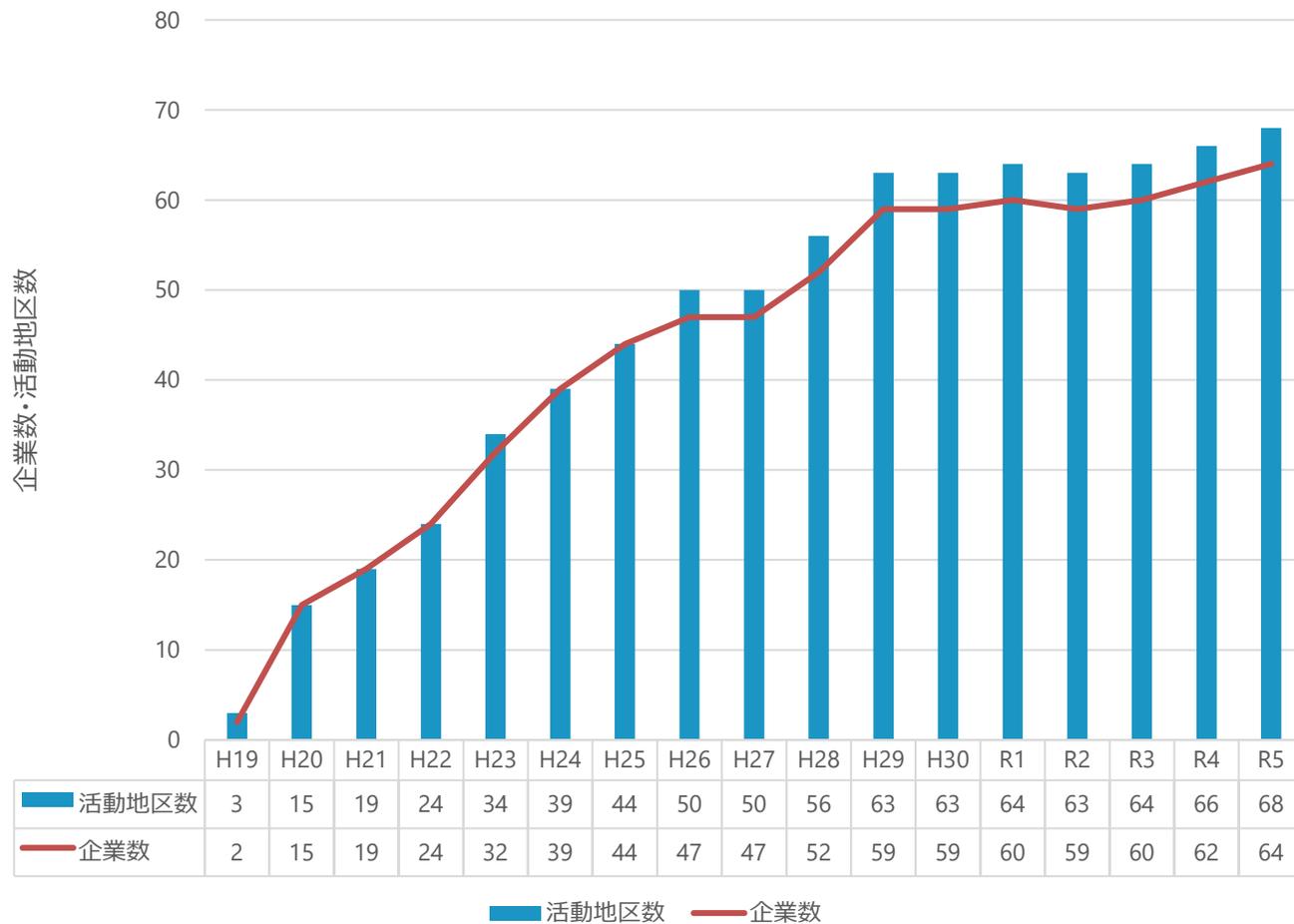


県有林

＜県有林における企業の森づくり活動実施方針＞



企業の森づくりの活動実績と活動団体

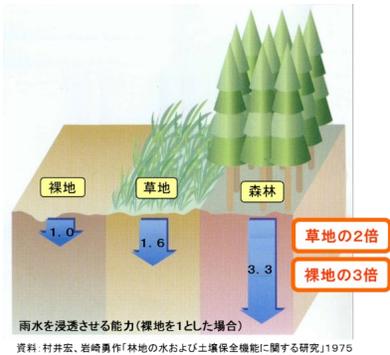


森林の有する公益的機能

森林は、木材生産はもとより、水源かん養や山地災害の防止、地球温暖化防止などの公益的機能を有する国民共有の財産

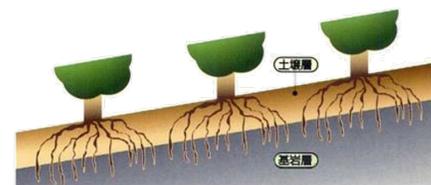
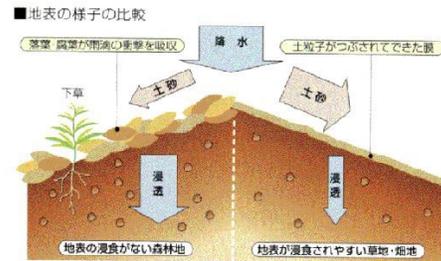
■ 水源かん養機能

森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能を持っている。また、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される。



■ 山地災害防止機能／ 土壌保全機能

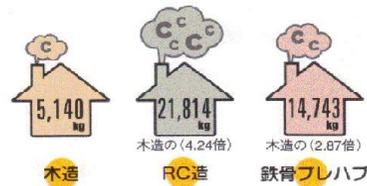
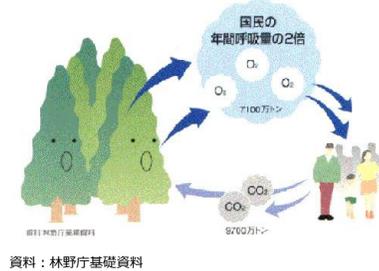
森林の下層植生や落枝落葉が地表の侵食を抑制するとともに、森林の樹木が根を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防いでいる。



資料: 若山岩三「森林水文」実践林業大学 1970

■ 地球環境保全

森林は、地球温暖化の原因である二酸化炭素の吸収や蒸発散作用により、地球規模で自然環境を調節している。



住宅1棟(床面積136㎡)当りの主要構成材料製造時の炭素放出量
 資料: 岡崎ら、木材工業53-3 (1998)

■ 保健・レクリエーション機能

森林は、安らぎや癒しの効果を持つ空間であり、フィトンチッドと呼ばれる樹木からの揮発性物質を含めて健康増進効果があるとされている。また、行楽やスポーツの場を提供している。



等

森林資源の循環利用（伐って、使って、植えて、育てる）



- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう



適切に管理された森林



林内搬出



間伐



下刈り等の保育



製材



植栽



県産材の利用



企業の森づくり活動 ①植樹



植樹

- ・森林育成の第1段階
- ・最低限、3～5年程度は下刈りなどの保育作業が必要となる
- ・実施時期は3～4月、10～11月を主とする



◎ 社内イベントに取り入れた事例

自社の創立〇〇年記念行事
社員の福利厚生を兼ねたイベント





下刈り・枝打ち



- 作業が比較的単純で、ボランティア活動としても手軽に実施できる
- 高齢木の枝打ちをする場合、高い場所での作業となり、やや難易度が高い
- 実施時期は下刈りは6～8月、枝打ちは9～12月を主とする

社内イベントに取り入れた事例

地球温暖化対策、水源の保全、地域住民との協働など、企業の環境方針の一環として取り組む



除伐・間伐



- 植栽した苗木の生育を妨げる樹木を伐る作業（除伐）や混み過ぎた森林を適正な密度に間引く作業（間伐）
- また、間伐材を資源化するため、林内に残された材を搬出する作業（間伐材搬出）、何れも難易度が高い
- 実施時期は9～12月等を標準とする

社内イベントに取り入れた事例

地球温暖化対策、水源の保全、地域住民との協働など、企業の環境方針の一環として取り組む



企業の森づくり活動 ④その他



しいたけなどの植菌活動、 遊歩道整備、 緩衝帯の整備など

- ・広葉樹の幹に穴を開け、植菌する作業や、森林内を散策するための歩道を整備する作業、手入れされていない里山林での藪の刈り払い作業など
- ・植菌の実施時期は2～5月、10月～12月を標準とする
- ・遊歩道整備は通年で作業可能



社内イベントに取り入れた事例

自社の創立〇〇年記念行事
社員の福利厚生を兼ねたイベント



◎ 石川県建設工事競争入札に係る主観点数の加点

石川県における建設工事入札参加資格者の格付けの際、建設業者が行う地域貢献等が「社会的取組み」として評価されます。

① 加点対象となる取り組み内容

- ・いしかわ我がまちアドプト制度
- ・消防団協力事業所表示制度
- ・いしかわ男女共同参画推進宣言企業認定制度
- ・エコドライブ推進事業所認定制度
- ・いしかわ版里山づくりISO制度
- ・企業の森づくり推進事業
- ・金沢保護観察所協力雇用主
- ・女性の主任技術者雇用
- ・建設統計調査の国土交通大臣表彰
- ・企業年金制度

② 加点内容

- ・上記 1 項目に該当 5 点
- ・上記 2 項目以上に該当 10 点

詳しくは、石川県監理課のWEBサイトをご覧ください。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/syukanntenn.html>

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/documents/syukantenyouryou.pdf>



◎ 農林水産部建設工事総合評価方式（簡易Ⅰ型、簡易Ⅱ型）の加点

土地改良事業、森林土木事業において、前年度の農林業への貢献実績が評価されます。

① 加点対象となる取り組み内容

- ・ 農業委員会の許可を得て、農地等での農作物栽培を行っていること。
- ・ 中山間地等直接支払交付金に係る集落協定の構成員となり毎年度、活動を行っていること。
- ・ 多面的機能支払交付金に係る活動組織の構成員となり毎年度、活動を行っていること。
- ・ 「企業の森づくり推進事業」による協定締結での活動を行っていること。

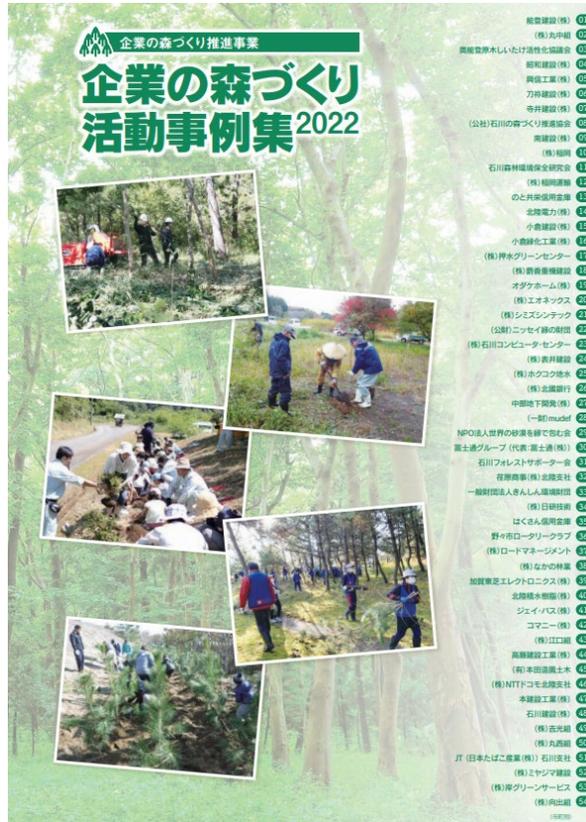
② 加点内容

- ・ 上記項目のうちいずれか1つ以上に該当 1点

総合評価方式については、石川県農業政策課技術管理室のWEBサイトをご覧ください。

http://www.pref.ishikawa.lg.jp/nousei/gijyutu/sesaku/sougouhyouka/nourinsui_sougouhyouka.html

(参考) 企業の森づくりの活動事例集、ハンドブック



企業の森づくり活動事例集2022

県内で森づくりに取り組む企業の事例集、
森林のマップ

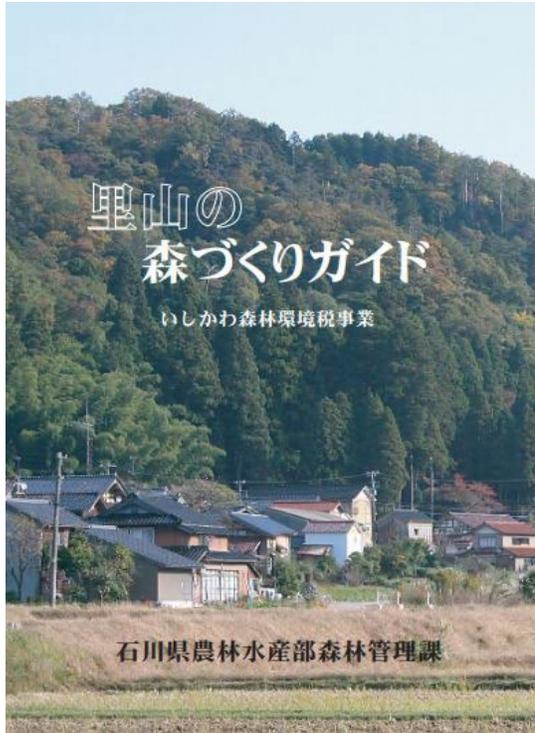


企業の森づくりハンドブック

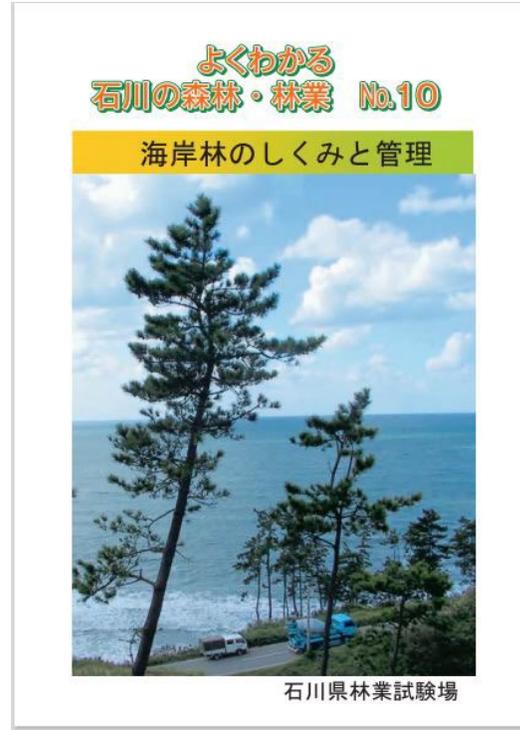
企業の森づくりを実施する際の参考書



(参考) 里山の森づくりガイドなど



里山の森づくりガイド



海岸林のしくみと管理

石川県農林総合研究センター林業試験場ホームページ
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/ringyo/index.html>

林業に関する研究報告や、森づくりの知識をまとめたパンフレットを掲載

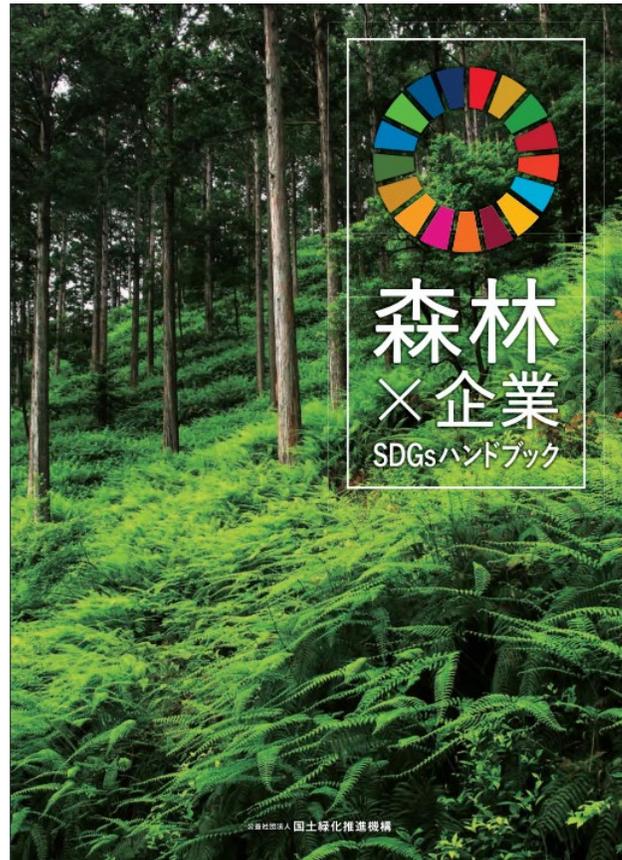
例：広葉樹を植えて里山の森づくりをしたい
⇒ 里山の森づくりガイド (PDF: 6,085KB)

例：里山のきのこの種類を調べたい
⇒ いしかわきのこ図鑑

例：海岸林の手入れをしたい
⇒ 海岸林のしくみと管理



(参考) 森林×企業 SDGsハンドブック



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

**SDGs/エス・ディー・ジーズ
持続可能な開発目標は
2030年の目指すべき社会の姿**

17の社会課題

SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、2030年に向けて持続可能な社会を実現するために解決しなければならぬ課題を17に整理したものです。健康や教育、働きがいや消費、水やエネルギー、地球温暖化防止や生物多様性などが含まれています。

経済、社会、環境

17の目標は、それぞれがつながりあっています。例えば、地球温暖化防止(目標13)には、エネルギーの脱炭素化(7)、森林の整備(15)、ゴミを減らすこと(12)など、経済、社会、環境の3つの側面から同時に取組む必要があります。

みんなの目標

SDGsは、地球上のあらゆる人々の参加が必要です。17の目標は、地球レベルでの目標であると同時に、わたしたちが暮らす地域の目標に読み替えることもできます。何から始めたらよいのか、それは一人ひとりの意思に委ねられています。

なぜ企業も取組むのか

持続可能な社会の実現には、企業の役割が重要で、本業のビジネスや企業の社会的責任での貢献、お客さまや地域とのパートナーシップによるアクションなど、さまざまな方法でSDGsを実践することができます。SDGsは、経営課題の解決にも役立てることができる素晴らしいツールです。

POINT

- 1 社会課題はニーズと読み替えることができる。SDGsを解決する製品・サービスが新たな市場やビジネスに発展する
- 2 SDGsを掲げることで従業員への意識や誇りを高め、お客様やお取引先、地域からの信頼や企業価値向上につながる
- 3 企業活動が将来的に影響を与えるさまざまなリスクを洗い出し、手の対策を講じることで経営の持続性を確保できる

ハンドブックの使い方

国土の約7割を占める森林は、さまざまな価値やポテンシャルを持っています。ハンドブックでは、「SDGsを達成した新たな担い手による森林づくりのあり方研究調査」(2020年3月)の成果として、企業の経営課題を森林を使って解決に役立てるための事例やヒントをまとめました。森林を捉えてみることで、SDGsの目標15への貢献のみならず、他の目標への同時達成や貢献にもつながります。

森林×企業 SDGsハンドブック (公益社団法人 国土緑化推進機構)

森林づくり活動をされている市民団体、森林で経営課題を解決したい企業向けのSDGsハンドブック

出典：公益社団法人国土緑化推進機構ホームページ<https://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>

